

作成日

令和6年3月31日

## (短期留学) 留学報告書

標記について、下記のとおり報告します。





## 記

## ○基本情報

氏名		所属 (令和5年度)	経済	学部	経営	学科	1年		
学籍番号		留学期間	令和	6年	2月	～	令和	6年	3月
留学先 国・地域	オーストラリア、メルボルン	留学先(学校)	Royal Malborne Institute of Technology						

## ○報告内容

<b>1. 留学前準備について(留学に参加した理由、留学の目的・目標 等) ※300字程度以上が目安</b>
私が留学に参加した理由は、海外を肌で感じてみたかったからです。私は、今回の留学に参加する前まで海外に行った経験がなく、今回が初めての海外渡航でした。そのため、留学というある程度の大枠が決まっている中で海外に行きたいというのが今回留学に参加した経緯でした。私は今回留学に参加するにあたって、経験することでしか味わう事のできない海外の雰囲気について理解することが目的の一部でした。最近の世の中は、SNSの発達によって情報を得ることが簡単になっている時代です。しかし、SNSの画像や映像などの情報から得ることができるのは視覚や聴覚でしか取り入れることができません。そのため、現地ですら理解することのできない嗅覚や触覚などの感覚を味わいたいと考えました。その目的のために、今回留学に参加を決意しました。
<b>2. 留学中に心がけたこと、努力したこと(授業、日常生活、留学中の活動 等) ※300字程度以上が目安</b>
私は留学中、自分から積極的に日本人以外の人と話すように心がけて生活しました。せっかく海外に行くのだから日本語を話せばかりではもったいないと感じていました。ですので、特に授業中は意識して外国人のクラスメイトと話すようにしていました。私のクラスには國學院大学の友達がおらず、最初は不安でした。しかし、私はこの状況を逆にチャンスととらえて外国人のクラスメイトと話すように意識していきました。なかなか最初のうちはコミュニケーションをとることができず苦しい状態が続きました。しかし、日に日に話していることが理解できるようになっていき、話すことが楽しくなっていました。その結果、渡豪する前よりも自分から積極的に会話をすることができたと思います。自分の心がけ一つで大きく結末が変化するのであると体感できました。
<b>3. 留学の成果について(留学の目的・目標の達成具合、新たに発見したこと、感じたこと 等) ※300字程度以上が目安</b>
留学に行ってみて体験できたことが大きく二つあります。一つ目が英語の違いです。私が留学先の大学ではほかの国籍の学生と交流をしてみたことで、国によって英語の発音や文法が違うことがわかってきました。中でも、中央アジアや東南アジア圏の英語は普段の慣れ親しんだ英語とは異っていました。そのため発音が聞きなれない単語があり、理解することに苦労しました。しかし、新しい発見をしたことで英語についてより興味を持つようになりました。二つ目は文化の違いです。今回の留学でホームステイをしたことでオーストラリアの文化をよく知れたと感じています。中でも大きく感じた違いが水に対する意識です。オーストラリアは深刻な水不足の国であり、多くの制限がありました。中でも、お風呂は5分のみや一週間に一回のみの洗濯であったりと日本では考えられないものが多くありました。このように体験できたことにより日本の今の環境が恵まれているということを理解することができました。
<b>4. 留学で学んだことを今後、どのように活かしたいか ※300字程度以上が目安</b>
私は今回の留学で学んだことを自分の普段の生活にいかしていきたいと考えています。今回、オーストラリアで5週間生活をしてみて日本より良かったことや日本の方が良かったことを知ることができた良い機会であったと感じています。普段の日本での生活では気づくことができていなかった、日本が恵まれている状況であることを知る好機であったと思っています。特に、水回りは日本が格段に恵まれていることを理解することができました。普段何気なく行っているお風呂や食器洗いが海外に出ると当たり前ではないという事実に気づかされたように感じました。なので、今後の生活では海外での水不足などの観点を鑑みて、水の使用時間を短くしたりするなど環境に優しい取り組みを行っていこうと考えています。

留学先 国・地域	オーストラリア、メルボルン	留学先（学校）	Royal Malborne Institute of Technology
5. 留学中の画像（お気に入りのスナップ） ※Excelの「挿入」メニューから「画像」をクリックし、画像を選択・挿入してください。1枚以上			
	写真の説明①：ビクトリア州立図書館の内部		写真の説明②：電車が工事のため運転がなくなりバスに置き換わった時の看板
	写真の説明③：グレートオーシャンロードの風景の一部		写真の説明④：夏季限定のクイーンビクトリアマーケットのナイトマーケット

6. 外国語での記述欄（留学先国・地域の言語で、留学中の生活、成果等について、自由にご記入ください。） ※英語150 words以上が目安

I think this study abroad is the best precious experience in my life. This is because I was able to learn about traditional culture and improve my English skills. During this study abroad period, I watched the game of Footy like a mixture of soccer and rugby. It is one of the famous sports in Australia, but not famous in Japan. Watching the match that made me interested in sports from other countries. It was too short to go to watch other games in five weeks. However, I want to watch sports in other countries. In addition, I went to the night market in Melbourne. It does not exist in Japan, so I was first time to experience that night market. It was crowded than I expected, and there were a lot of food stalls. That's why I was very pleasant. In such situations, I interacted a lot with local people. From these experience, I think my English skills have improved by being exposed to more native English. I'm glad I had a variety of experiences.

7. その他（自由記述）任意で記述

私は今回の留学に行く決断をして本当に良かったと感じています。最初は不安な気持ちで毎日を過ごしていましたが、最高の仲間とともに同じメルボルンという異国の地で過ごした時間は自分の人生のかけがえのないものになりました。5週間という短い期間でしたが、同じクラスだった外国人の人も友達になれました。ホストマザーとも英語でうまく話せるようになりました。中でも、5週間毎日一緒に過ごした友達は生涯の友達になれたような気がします。メルボルンでは勉強に加えて、地域のことを知るために多くの場所を観光しました。その中で一緒にいた友達は、自分にとっての支えになっていた気がします。みんなのおかげで5週間があっという間に経過してしまい、最初不安でおびえていた自分でさえ帰りたくないという気持ちが芽生えていました。なのでまたメルボルンに帰りたくです。本当に行って良かったです。